

VIII. お住まいの地震対策について（問 22～問 24）

発生が危惧される大地震に備え、耐震性が低い可能性がある昭和 56 年以前に建築された住宅の耐震化を推進するために皆様のご意見をお聞きします。（昭和 56 年に建築基準法が改正されました）

<問 22～24 は、昭和 56 年 5 月 31 日以前に着工した住宅を所有されている方にお聞きします。>

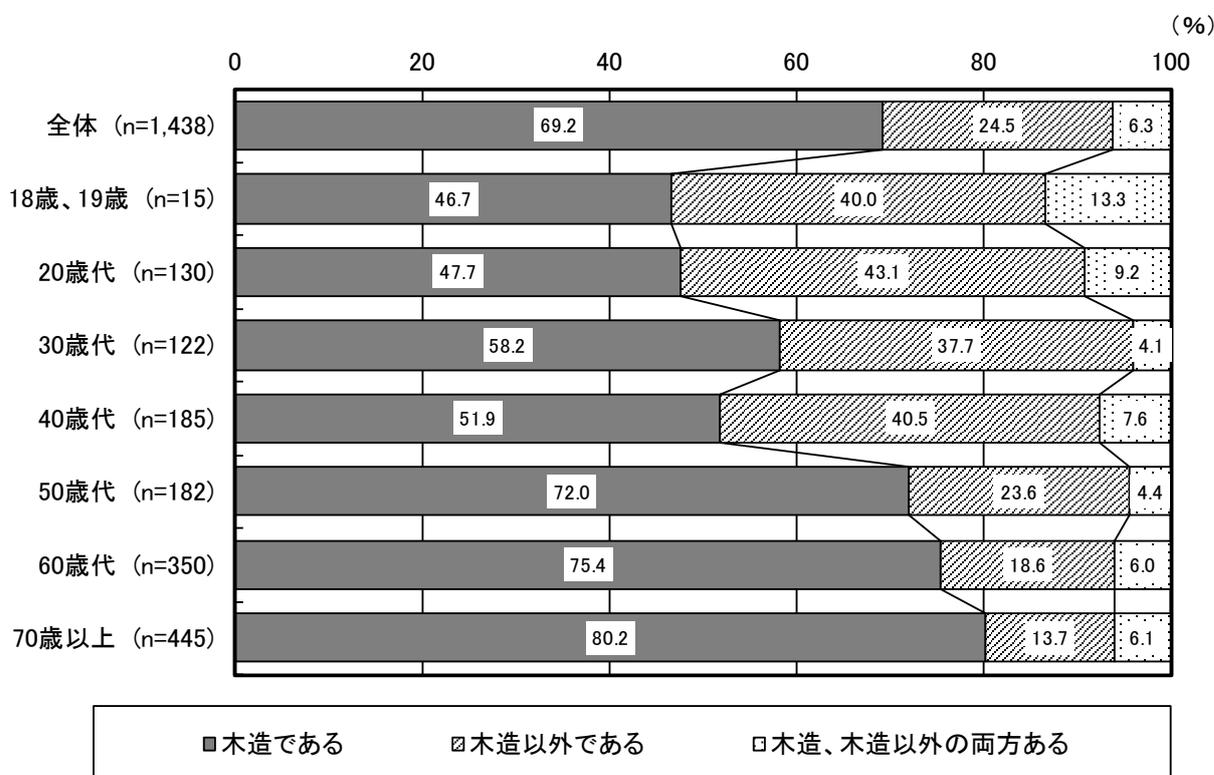
【問 22】住宅は木造ですか、木造以外（鉄骨造、鉄筋コンクリート造等）ですか。
(n=1,438)

（1）全体的傾向

「木造である」と回答した人の割合は約 69%で、「木造以外である」と回答した人の割合が約 25%となっている。

（2）年代別にみた特性

各年代とも、「木造である」と回答した人の割合が高く約 47%～80%となっている。
一方、20 歳代では、「木造以外である」と回答した人の割合が約 43%となっており、他の年代と比べ高くなっている。



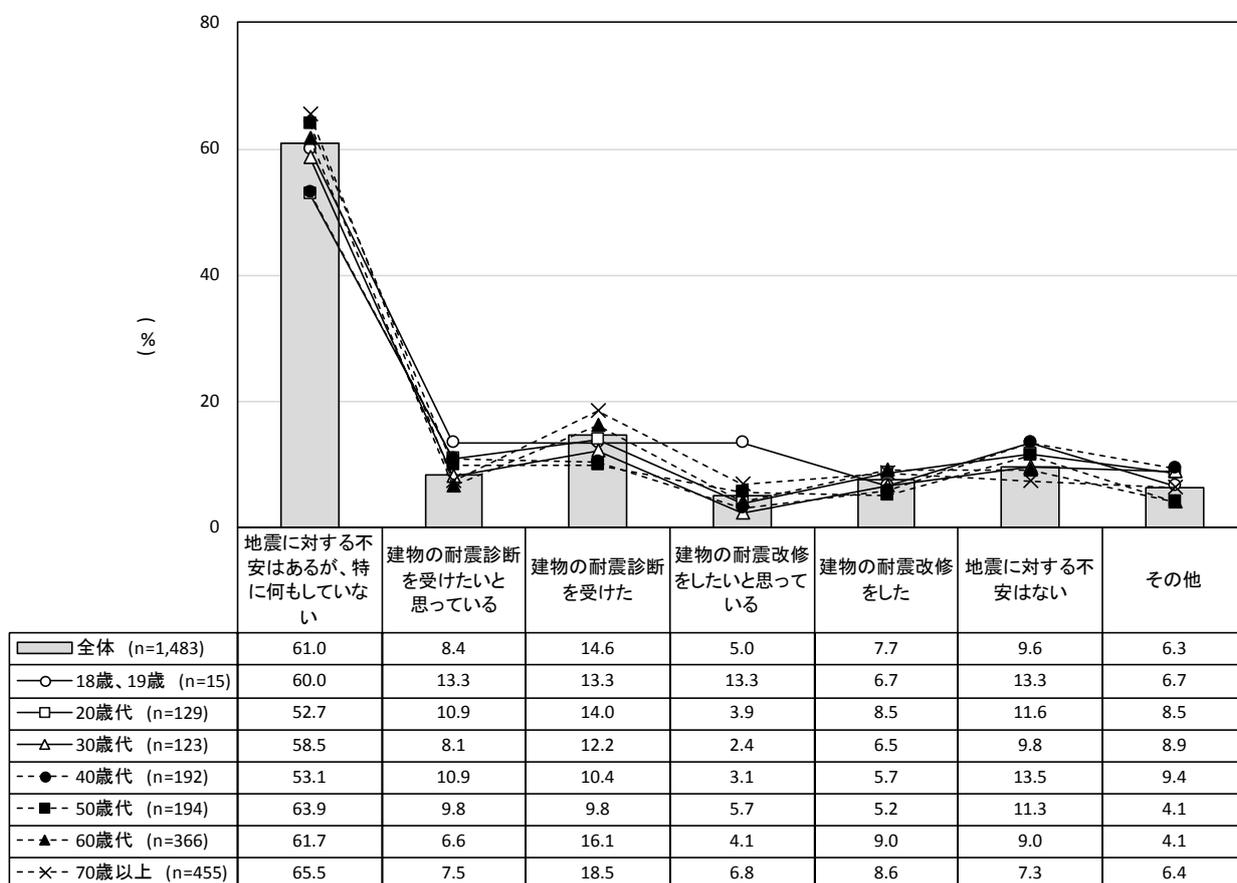
【問 23】あなたは所有されている住宅に対して、どのような地震対策をしていますか。
 (複数回答 : n=1,483)

(1) 全体的傾向

「地震に対する不安はあるが、特に何もしていない」と回答した人の割合が約 61%と最も高く、次いで「建物の耐震診断を受けた」(約 15%)、「地震に対する不安はない」(約 10%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

各年代とも、「地震に対する不安はあるが、特に何もしていない」と回答した人が約 53%~66%と、他の項目と比べ高くなっている。



<問 23 で「1. 地震に対する不安はあるが、特に何もしていない」と答えた方にお聞きします。>

【問 24】何もしていない理由は次のうちどれですか。（複数回答：n=856）

（1）全体的傾向

「耐震改修にお金がかかる」と回答した人の割合が約 53%と最も高く、次いで「耐震診断にお金がかかる」（約 37%）、「耐震改修しても安心できない」（約 29%）と続いている。

（2）年代別にみた特性

各年代とも、「耐震改修にお金がかかる」と「耐震診断にお金がかかる」を合わせた「費用負担」が原因で何もしていないと回答した人の割合が高くなっている。また、30 歳代、40 歳代では、「耐震診断、改修をどこに頼めばよいのかわからない」と回答した人の割合が約 22%～28%となっており、他の年代と比べ高くなっている。

